

京都大学防災研究所年報 第 62 号 [平成 30 年度]

第 62 号 B

観測情報に基づく建物倒壊確率を考慮した津波避難シミュレーション……………	246
伊藤 恵理・川瀬 博・畑山 満則・長嶋 史明	
押込み時における杭先端地盤の密度変化と支持層厚の関係 —X 線マイクロ CT と間隙率マッピングを適用して—……………	254
末澤 理希・木戸隆之祐・澤村 康生・木村 亮	
大規模噴火による航空交通網制御の危機対応に関する基礎的考察 —桜島大噴火を事例として—……………	264
大西 正光・藏原これほる	
2017 年 9 月 3 日北朝鮮における人工地震の地震波形解析……………	269
山田 真澄・前田 拓人・Jim MORI	
地震学的手法による南九州下のフィリピン海スラブとその周辺域の構造の推定……………	279
澁谷 拓郎・寺石 眞弘・小松信太郎・山崎 健一・山下 裕亮・ 大倉 敬宏・吉川 慎・井口 正人・為栗 健・園田 忠臣	
Re-examination of GNSS Data Before the 2004 Chuetsu and the 2007 Chuetsu-oki Earthquakes……………	288
Angela MENESES-GUTIERREZ and Takuya NISHIMURA	
SAR が見えたもの見えなかったもの：大阪北部地震と北海道胆振東部地震……………	296
橋本 学	
2018 年大阪府北部の地震がもたらした防災意識の変化……………	306
山村 紀香・三宅 雄紀・坂上 啓・片尾 浩	
2018 年 11 月下旬以降の焼岳火山近傍の地震活動について……………	310
大見 士朗	
桜島火山における繰り返し相対重力測定（2018 年 5 月～2019 年 2 月）……………	318
風間 卓仁・山本 圭吾・大島 弘光・岡田 和見・ 大柳 諒・園田 忠臣・井口 正人	
初期構造異方性を考慮したひずみ空間多重せん断モデルによる応力誘導ファブリックの表現……………	325
上田 恭平・中原 知洋	
壁面の分割構造を模擬した帯鋼補強土壁に関する動的遠心模型実験……………	338
宮崎 祐輔・伊東丈太郎・澤村 康生・木村 亮	

2018 年胆振東部地震による降下火砕物の崩壊：特に火砕物の風化状況について	348
千木良雅弘・田近 淳・石丸 聡	
平成 30 年 7 月豪雨をもたらした梅雨前線強化 —Q ベクトルを用いた解析—	357
榎本 剛	
TCCON 観測点における GOSAT XCO ₂ データのバイアスに関する解析	362
井口 敬雄	
冬季極東域における寒暖で分類した El Niño 発生時の中高緯度大気の応答	379
塩崎 公大・榎本 剛・高谷康太郎	
2018 年台風 21 号による暴風の解析	386
竹見 哲也・石川 裕彦	
京都市近郊における 2018 年夏季・秋季における気象観測結果	393
堀口 光章	
Ka バンド雲レーダー等のマルチセンサーで捉えた積乱雲の生成・発達過程	399
中北 英一・新保 友啓・大東 忠保・山口 弘誠	
フェーズドアレイレーダを用いたゲリラ豪雨発達初期の積乱雲詳細解析	432
中北 英一・高尾 充政・新保 友啓・山口 弘誠・中川 勝広	
積乱雲発達初期の雲情報データ同化によるゲリラ豪雨予測	441
山口 弘誠・上嶋 一樹・堀池 洋祐・中北 英一	
都市気象 LES モデルを用いた渦管形成とその起源となる熱的上昇流の解析	468
山口 弘誠・土橋 知紘・中北 英一	
都市気象 LES モデルを用いた大気境界層を突破する熱的上昇流の発見と渦管解析	493
山口 弘誠・小西 大・土橋 知紘・中北 英一	
線状降水帯豪雨予測に向けた水蒸気のアンサンブル予測情報の更新履歴解析	533
山口 弘誠・黒田 奈那・中北 英一	
Landslide Hazard Assessment in Western Japan Using Logistic Regression Analysis with Hydrometeorological Factors	545
Ying-Hsin WU and Eiichi NAKAKITA	
The Utilization of Rapid Scan Observation Data through Rapid Development Cumulus Area Index to Estimate Updraft	554
Wendi HARJUPA, Eiichi NAKAKITA, Yasuhiko SUMIDA and Aritoshi MASUDA	
2018 年 7 月豪雨の異常さと地球温暖化による影響評価	560
小坂田ゆかり・中北 英一	

大湫海岸・四ッ屋浜の観測棧橋跡周辺の海底地形と海底底質の粒度組成 —主に弧状沿岸砂州において—	569
	内山 清
Numerical Study on the Hydro-Morphological and Bank Erosion Characteristics of Uji River, Japan	598
Saroj KARKI, Hajime NAKAGAWA, Kenji KAWAIKE and Masakazu HASHIMOTO	
Informing and Involving the Flood Exposed Community in Fulcharri Upazila at Ghaibandha District Bangladesh on Flood Risks and Mitigation	611
Reazul AHSAN, Hajime NAKAGAWA, Kenji KAWAIKE, Masakazu HASHIMOTO, Md. Munsur RAHMAN, Mashfiqus SALEHIN, Shammi HAQUE and KM Nabiul ISLAM	
田辺中島高潮観測塔において 2018 年夏期に観測された強風, 高波浪について	621
	馬場 康之・久保 輝広
Development an Integrated Sediment Disaster Simulator and Application to Sediment Disaster Mitigation and Reservoir Sedimentation Management in the Brantas River Basin, Indonesia	626
Dian SISINGGIH, Masaharu FUJITA and Kazuki YAMANOI	
用水路・側溝での水難事故発生の危険性に関する研究	632
	戸田 圭一・岡本 隆明・岡 宗佑・當麻 泰史
Revisiting Flood Management Process in Transboundary Koshi River in Nepal and India	640
Suchana ACHARYA and Tomoharu HORI	
多波長センサーによるアララ海流域における灌漑実態の広域モニタリング	650
	峠 嘉哉・Mbugua Jacqueline MUTHONI・田中 賢治・Temur KHUJANAZAROV
高解像度日降水グリッドデータ APHRO_JP の極端降水再現性に対する気候値の効果	656
	安富奈津子・田中 賢治・田中 茂信
亀岡盆地の流出・氾濫解析に基づく日吉ダムの治水操作手法の検討	663
	岩本 麻紀・竹門 康弘・野原 大督・小柴 孝太・角 哲也
ダム常用洪水吐ゲートの機能低下に伴う洪水リスク評価に関する検討	671
	高田 翔也・角 哲也
河道外貯留ダムの類型化とその河川の土砂連続性への影響に関する研究	679
	石塚 淳也・小林 草平・竹門 康弘・角 哲也
Reservoir Sedimentation at Wadi System: Challenges and Management Strategies	689
Mohamed SABER, Sameh KANTOUSH, Tetsuya SUMI, Yusuke OGISO and Tahani ALHARRASI	
天竜川における出水履歴が河床の水質機能に及ぼす影響	700
	高橋 真司・兵藤 誠・角 哲也・竹門 康弘
天竜川の砂州における湧水流路の形成過程と生息場機能	713
	山崎 弘美・竹門 康弘・鳥居 高明・高橋 真司・兵藤 誠・角 哲也

河床攪乱指標を用いたダム建設影響の評価手法の提案……………	721
波多野圭亮・竹門 康弘・角 哲也	
Use Constant-Head Injection Test for In-Situ Estimation of Hydraulic Conductivity in Gravel Bed Rivers ……	727
Enbang XIAO, Yasuhiro TAKEMON, Sohei KOBAYASHI and Tetsuya SUMI	
木津川の河床地形管理における伝統的河川工法「聖牛」の活用……………	734
田住 真史・竹門 康弘・小林 草平・角 哲也	
トリニティ川における RFID を用いた砂礫の追跡による土砂還元事業の評価 ……………	766
狩野 幹太・David GAEUMAN・角 哲也・竹門 康弘	
2018 年排砂バイパス運用による小渋ダム下流における河岸侵食と流路変化 ……………	775
小林 草平・小柴 孝太・角 哲也・竹門 康弘・カントウツシュサメ	
洪水防御に係る 2017 年ドイツ水管理法（Wasserhaushaltsgesetz）改正の一断面 ……………	786
重本 達哉	